

12月15日（日）

生徒の日記から

M. H

短い9日間の研修でしたが、アメリカと日本の文化の違いを感じ、CCAの生徒たちと友情を築き、また、別れの際は悲しくてつらい思いもしました。日本の外に出ることで、自分が生きている国の良さや日本独特である文化や習慣を知ることができ、日本にいるときには見ることができなかった景色を見ることができたと思います。研修を通して、私は「世界って本当に広いのだな」と思いました。英語はこれから生きていく上でとても大切な言語だと言われていますが、私は、英語と他の言語も身につけて、これらを意思疎通のツールとして世界中の人たちと友情を築きたいと思いました。

K. H

自分はコミュニケーションをたくさん取れたのかと考えてみたら、ホストファミリーやCCAなど、この海外研修に関わった人々を思い出した。その中で、楽しくコミュニケーションを取ることができたのはうれしかったし、自信にもなった。しかし、自分を表現するという点においては、少し力不足だった。全体を振り返って、日本とアメリカの違いを2つ見つけた。1つは、会話の様子だ。アメリカ人は、フレンドリーで、人の話を聞くときは相手の方に顔を向け、話すときは手などを使って相手に伝えようとする。もう1つは、ビルのガラス窓を広く取るなどエコに配慮したものの多さだ。今回の研修は楽しく実のあるものだった。